



## この夏も感動をあらがとう！

### ～令和3年度 夏のボランティア体験～

今年度の夏のボランティア体験は 7/18～開始しましたが、新型コロナウィルス感染拡大のため8月1日以降全て中止とさせていただきました。申し込んでいただいた 242 名中、実際に活動できたのは 56 名でした。突然中止になつたことで、参加予定だった方や受入施設の方、関係者の皆様方に「たいへんご迷惑をかけ申し訳ありませんでした。

申込み時や事前のオリエンテーション時に、「ボランティアは初めてなんです。」「ドキドキします！」と笑顔で話してくれた皆さん。中止の連絡を入れるのが本当に心苦しかったですが、また次の機会にお会いできますように。



#### ＜7月中に体験した方の声を一部ご紹介します！＞

- 最初はどう話しかけたらいいかわからなかつたけど、時間が経つにつれ話ができるようになり、一緒に色々なことが出来て嬉しかつたです。(高齢者施設)
- 訪問する前はとても緊張したし不安なこともたくさんあつたが、初めて行ったところがこんな温かくて楽しいところでとてもよかったです。とてもいい経験になりました。(高齢者施設)
- お昼寝の後、部屋に入ると「おはよう～う」と抱きついてくれたのがすごく可愛くて嬉しかつたです。職員さんも質問にやさしく答えてくれて、とても楽しいボランティア体験となりました。(こども園)
- 先生方が一人一人の子どもと向き合う姿を見て、学ぶことがたくさんありました。今日の体験はしっかりと自分の進路に役立てていきたいです。(こども園)
- 子どもたちの笑顔に心を打たれ、やりがいを肌で感じてよい経験になりました。この経験が将来に繋がっていくように、頑張ります。(こども園)



#### 支えてくれる皆さんにエールを！



あつとほむぶれいす代表の川野陽子さん(三光在住)が、ガーデンヴィラおぐすに自作のクリアファイルの売上金5万円を寄付しました。このクリアファイルは疫病除け妖魔アマビ工をモチーフにしたデザインを川野さん自らが手がけ、「支えてくれる医療福祉従事者の皆さんにエールを届けたい」という想いを込めて製作したものです。



いちばん大変などきに支えてくれるのは周りからの温かい言葉。まだまだコロナと向き合う毎日が続いていますが、普通の生活を取り戻すため自分にできることを一つ一つ積み重ね、大切な人を守れるようにしたいですね。(八田さん)

リモートで川野さんとやり取りする施設長の八田さん(左)と奥山さん(右)。



## ご近所による生活支援／住民型有償サービスへ

### 「住民型有償サービス」のことを知っていますか？

住民型有償サービスは地域住民同士による、生活の中の困りごとを支援する”支え合いの活動”で、無償でお願いにくい生活支援サービス（掃除、調理、買い物など）を有償で提供しています。

現在中津市で10団体が活動しており、スタッフ自身の特技やできることなどの内容で支援しています。

たくさんの地域の方がスタッフとして活動されていますが、7月から新たに住民型有償サービス「大幡まこもサービス」のスタッフになった大幡校区の黒豆(くろづ)さんに、スタッフになつたきっかけや実際に支援に携わつて感じたことなどを聞いてみました。

#### きっかけは…？

先日、近所のAさんから、「高齢になり、買い物に行けなくて困っている」と聞きました。そこで大幡校区で活動している「まこもサービス」に支援してもらえないかと思い、問い合わせてみました。

マネージャー(相談調整役)が本人に聞き取りを行うためにAさん宅に来る日、自分も行って立ち会いました。二人が話しているのを聞いているうちに「これくらいなら自分にも手伝える」と思い、スタッフとなつて支援したいと申し出ました。



#### スタッフになつてみて、どうですか？

実際にやつてみて、生活に困りごとがある人は隣近所の人たちよつとした手伝いで生活しやすくなることがわかりました。また、ご近所だからこそ自分も負担なく手伝いができます。



このように、住民型有償サービスの支援は、スタッフが無理なくできる内容です。近所の人同士だからできることも多く、「助けられたり、助けたり」という、地域の当たり前の暮らしづを支える活動をしています。

きっかけは様々でも、「自分も何かやりたい」「誰かを支えたい」と思ったとき、ちょっとした一步を踏み出すことで周りを元気づけ、笑顔をもらえますね♪

「住民型有償サービス」についてのお問い合わせは…  
中津市社会福祉協議会 地域福祉課 023-2095

